

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	第一回消防委員会
2 日時	令和5年8月9日 午後1時30分から午後4時10分まで
3 会場	上田地域広域連合消防本部 3階大会議室
4 出席者	宮島武宏会長、堀内健一郎副会長、富岡徹委員、久保田美知子委員、室賀直実委員 馬場小夜子委員、山崎恵子委員、荻原敬一委員、小林芳夫委員、近藤忠夫委員 宮島淳委員、樋沢浩彦委員
5 市側出席者	堀池正博消防部長、西澤和浩消防総務課長、山田和広危機管理防災課長、吉田広行消防総務課長補佐、高畑香之消防総務担当係長、 内川英貴危機管理防災担当係長、福澤賢治上田市消防団長、沓掛和重上田市消防団副団長、宮原克彦上田市消防団副団長、山岸誠上田市消防団副団長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年8月14日
協 議 事 項 等	

- 1 開 会（消防総務担当係長）
- 2 あいさつ（消防部長）
- 3 自己紹介  
北澤委員、月岡委員欠席
- 4 正副会長選出  
消防総務担当係長から会則により互選とされていることの説明、選出方法の意見を求める。  
委員から事務局一任の発声があり、事務局から会長、副会長を指名し、委員からの賛同により決定される。
- 5 議事
  - (1) 上田市の消防組織について
    - ア 上田市消防委員会について（資料番号1）
      - ・資料に沿い、消防総務課長から上田市消防委員会条例について概要を説明  
質疑等なし。
    - イ 上田地域広域連合消防本部について（資料番号2）
      - ・資料に沿い、消防総務課長から上田地域広域連合消防本部について概要を説明  
質疑等なし。
    - ウ 上田市消防団について（資料番号3）
      - ・資料に沿い、上田市消防団長から上田市消防団について概要を説明  
質疑等なし。
  - (2) 令和3年度及び令和4年度の上田市消防委員会諮問と答申について（資料番号4・5）
    - ・資料に沿い、消防総務課長から令和3年度と令和4年度の上田市消防委員会諮問と答申について  
概要を説明  
質疑等なし。
  - (3) 上田市消防団の団員確保策について（資料番号6）
    - ・資料に沿い、上田市消防団長から上田市消防委員会条例について概要を説明
    - ・資料に添い、上田市消防副団長から団員確保の現状について説明
    - ・資料に添い、上田市消防副団長から今年度の消防団員の負担軽減状況について説明
    - ・消防総務課長から、団員確保策の一つとして8月7日に任命式を行った機能別団員である武石地域自治センター班の概要を説明
    - ・以降、協議

(議 長) 武石地域自治センター班結成は条例の一部改正による機能別団員制度を使ったのか。

(事務局) その通り。

(議 長) その他で、機能別団員の制度が使われた実績はあるか。

(事務局) 今回の武石地域自治センター班が初めてである。今後のスケジュールは消防団から回答したい。

(消防団) 機能別団員は基本団員を補完するためと考えている。各分団で実情が違うため、必要な分団については協議し、今後登用を進めたいと考えている。

(議 長) 今年度の委員会では、委員に対して団員の負担軽減を含め、団員確保に関しての提案や意見を求めるということで良いか。

(事務局) そのとおり。

(議 長) 承知した。それでは、全委員から意見をいただく。

(委 員) 消防団員は、災害時の活動という部分で大きな役割を持っていると考える。機能別団員も基本団員の補完であっても災害時の活動の確保という意味で大変良いと考える。また、女性団員や学生団員は、後方支援や予防活動という立場で活動していただくことで基本団員の負担軽減ができるのではないかと考える。機能別団員は、良い取り組みだと考える。

- (委員) 女性消防団員確保について、最近少し高い年齢層の団員がかなりの人数辞めたと聞いた。それぞれの立場での活動の場を与えるとともに、辞めていった方に理由を聞くことが団員確保に繋がるのではないか。
- (議長) 消防団から感想などあるか。
- (消防団) 人事は各分団の事情で行っているの確認できていないが、女性団員には後方支援などでアピールしている。また、2月、3月には内閣府の避難所運営訓練に参加し、女性はどう役割をもって活躍できるか勉強させてもらっている。
- (議長) モチベーションを持って入られた方に仕事がないといった状況は残念である。女性の役割は重要であると思う。
- (委員) 私の家の近くにマンションが増えた。マンションや大企業の店舗などでは火災時などでどんな組織を作っているのか。
- (事務局) 一定以上の人員が入るマンションや店舗については、消防法で定められた防火管理者制度というのがあり、防火管理者を中心として火災予防や火災時等の取り決めをしている。
- (委員) 地区で年初めに自主防災組織の役員を定めることになっているが、組織として機能していないし消防団と自治会と連携が取れていない。そんな中で地区連では役員を減らす動きもある。そんなジレンマの中で行政には工夫して欲しいと思う。
- (委員) 私の住む自治会には昔はいたが、今は消防団員がいない。チラシ配りなどで勧誘はしても可能性は低いと感じている。消防団の皆さんの活動には感謝をしているが、火事や災害時どうなるか不安である。自主防災組織はあるが実際には動けないと感じる。
- (議長) 自主防災組織と消防団、自治会との連携を行政として強化してっていくことは必要だと思う。
- (危機管理) 災害時、行政の公助といった立場で個々迅速に対応できるかという点非常に厳しい。そこで地域で連携して初期の段階での安全確保のための組織作りをお願いしている。防災講話や訓練時に要望いただければ支援させていただく。
- (委員) 今と昔では環境が違うので団員確保は難しいと思う。地域に子供が減り、その子供も地元密着の意識が薄い。また、団員勧誘で親が門前払いすると聞いたことがある。
- (委員) 機能別団員の話聞いて、出来る部分だけ特化してお手伝いできる機能別団員の方を増やすべきだと思う。災害時に高齢者だけであっても出来ることもある。
- (委員) 今日初めて機能別団員というのを聞いたが、とてもいい策だと思う。今後、機能別団員を充実させていくことが良いと思う。
- (委員) 昔は法被を持って来られれば消防団に入るものだった。今は考え方も変わった。消防団に入る上でいざという時ポンプひとつ動かさないでは困るため、ある程度の訓練は必要である。機能別団員については、私の自治会役員は若手が多く8割が消防団経験者である。まだ仕事をしているが、夜間は役に立てると思う。また、小さい子に消防団が放水訓練を見せるのも良いと思う。
- (委員) 私は以前、日本一の消防団だと思って消防団をやっていた。今は負担軽減だと言われているが、結局人間と人間の繋がりであり、魅力ある消防団であれば見方が違ってくるのではないか。
- (委員) 先日地元でお祭りがあり、消防団が消防車の展示をして子供達から人気があった。子供に父親が頑張っているところを見せられていたと思う。また、出動報酬が創設されたが、その分、花火大会に消防団員から寄付をいただき地域に還元してくれていた。地域が消防団を見ているということが伝われば団員確保にも繋がるのではないか。
- (議長) 機能別団員について、団長から今後、各分団から意見を聞く旨の発言があった。次回の委員会にはどんな形の機能別団員であれば活用できるのかなど率直な意見を聞きたい。また、負担軽減についても消防委員会での意見が消防団員にとってどうなのか率直なお話を聞いた上で意見を出していきたい。企業では、災害時にも事業を継続していくための事業継続計画というプランニングがある。企業から消防団に人材を送ることもプラスに

なると思う。

○協議結果：継続審議。

6 その他

- ・消防団から上田市消防団音楽隊結成50周年記念演奏会について案内する。

7 閉会